

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

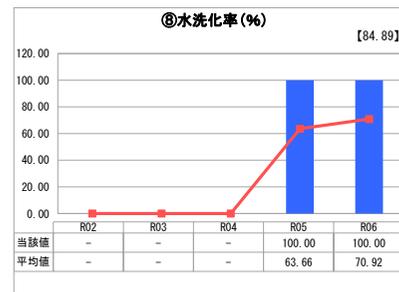
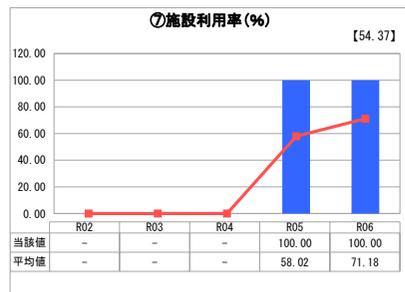
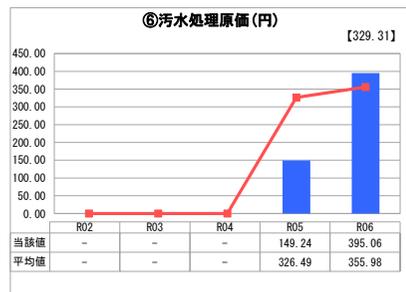
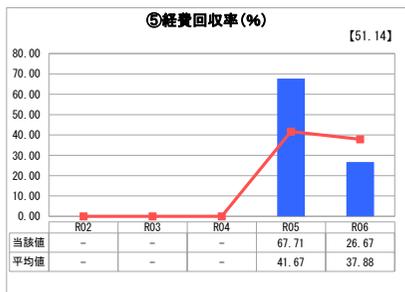
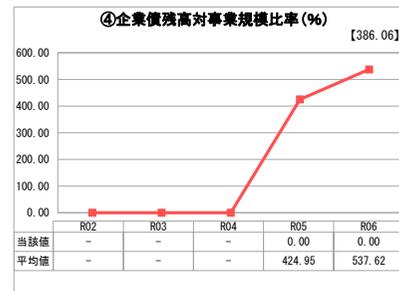
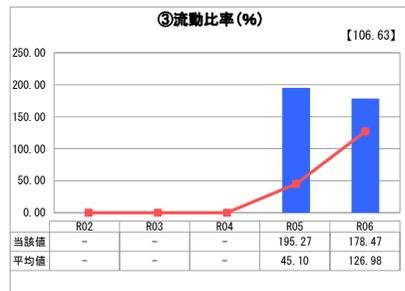
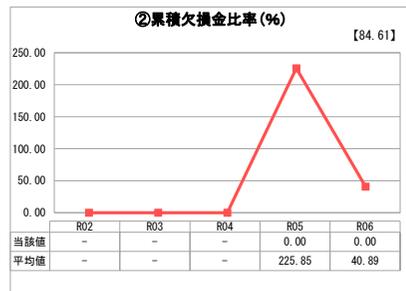
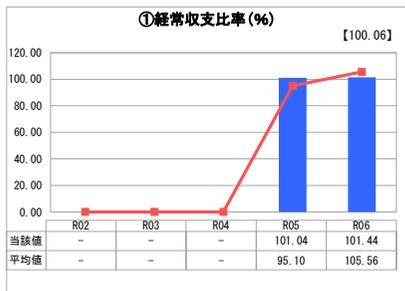
静岡県 御殿場市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	93.92	1.24	100.00	3,960

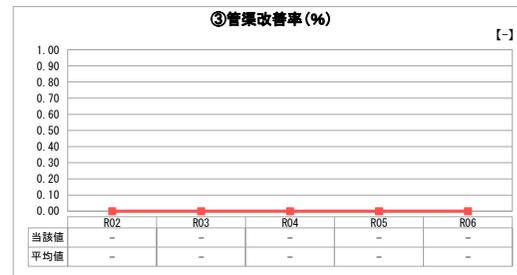
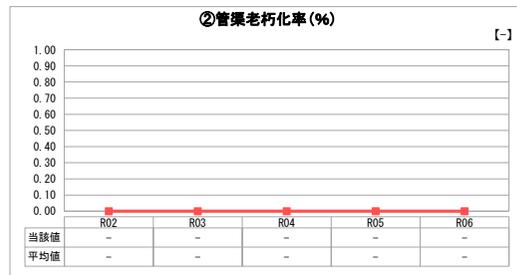
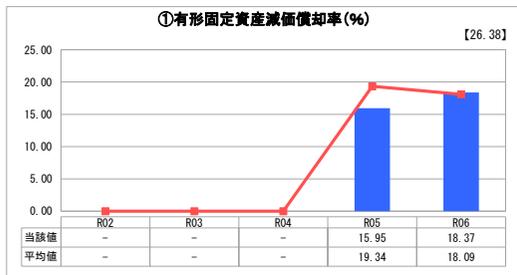
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
83,487	194.90	428.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,027	1.91	537.70

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

御殿場市公設浄化槽整備事業は、市債の借入れは行わず、国交付金、県補助金、個人負担金、特定地域にある一般社団法人からの寄付による基金を主な財源としている。  
また、令和5年度より地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行した。

経営の健全性において、経常収支比率(①)及び流動比率(③)は100%を超えており、類似団体平均値と同程度の値となっている。累積欠損金比率(②)は0となっており経営状況は良好であると言える。  
一方、経費回収率(⑤)は減少しているがこれは汚水処理原価(⑥)増加によるためである。経費回収率の不足分を基金により賸っている。また汚水処理原価(⑥)の増加については汚水処理費用の増加が原因となっている。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年度より供用を開始し、順次供用開始浄化槽が増えている状況である。供用開始から数年経過した浄化槽について、電気設備等の軽微な修繕が必要となる施設が発生しているが、いずれも当初から想定されている消耗部品の交換のみで、大規模な修繕は発生していない。

### 全体総括

市債の借入れを行わず国交付金等の財源にて事業を実施しているが、限られた財源を有効活用するため、持続可能な経営ができるよう務める必要がある。

また、軽微な修繕により施設の機能は維持されているが、供用開始から10年を経過しているため修繕の増加が見込まれる。今後は、財政状況を踏まえたうえで、維持管理費の削減や使用料水準の検証等に取り組んでいく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。